

第一回 地域連携推進会議 議事録

会議概要

- 日時: 2026.03.12(木) 15:05より約30分
- 場所: 北海道ロジサービス A棟 会議室
- 目的: 事業所の運営状況を公開し、地域の皆様や専門職の方々から助言をいただくことで、サービスの質の向上と地域に開かれたホームづくりを目指す。堅苦しい会議ではなく、率直な意見交換を行う。
- 【出席者】:
 - 福地和真様(利用者代表/コープルート入居者)
 - 三上薫様(地域代表/駐車場オーナーご家族)
 - 大川弘江様(家族代表/入居者のご家族)
 - 石垣笑子(コープ・ルート サービス管理責任者)
 - 石岡利規(コープ・ルート管理者/司会)
- 【欠席者】:
 - 川田純様(専門職/相談室すてら 相談支援専門員)

議事

1. 事業所の概要説明

【経営状況】

- 定員7名に対し、現在入居者は6名。今月中にあと1名入所予定であり、今月末に満室となる見込み。
- 安定した運営を継続しており、今後も健全な経営に努め、安全な住まいの維持に尽力する。

【日常生活】

- 利用者の多くは日中に就労継続支援A型事業所などで就労されている。
- 一斉に集まる機会は少ないが、職員が毎日利用者様と顔を合わせ、体調面の確認を実施している。
- 利用者様お一人お一人が自分の部屋でくつろぐ、自分らしい暮らしを尊重した支援を実施している。

【日常生活に関する意見交換(質疑応答の要点)】

- 大川様(家族代表)より、ご本人のホームでの過ごし方について気になる点はなく、話を聞く限り満喫している様子である旨の報告があった。
- 福地様(利用者代表)より、入居前の不安は解消され、職員と話しやすく暮らしやすいとの発言があった。特にA型事業所とグループホームの夜勤職員が同一人物であるため話しやすい。職員が「最近困ってないですか？」など、些細な会話から相談のきっかけを作ってくれるため、寄り添った支援に感謝している旨の意見があった。
- 三上様(地域代表)より、ホームの環境について「自立した生活が可能で、プライバシーも守られている」との印象が述べられた。食堂は全員が集まった場合は狭い可能性があるが、過ごしやすそうな環境であるとの見解が示された。

2. 事業所の取り組みと課題

【事業所の取り組み】

- 権利擁護・虐待防止: 職員の虐待防止研修を定期的実施。ヒヤリハット報告を共有し、段差の改善など事故の未然防止に向けた環境整備も行っている。
- 避難訓練の実施: 年2回の義務付けに基づき、2月に災害時の避難経路と避難場所の確認動画を視聴。3月には火災予防の動画を中心とした避難訓練を実施予定。
- 感染症対策: インフルエンザやコロナ流行時は、感染拡大防止のため食堂ではなく各部屋で個別に食事を摂る対応を実施。フェイスシールドやゴーグルなどの備品も備え、拡大防止体制を整えている。

【今後の課題】

- 現在は個々の暮らしを優先しているが、今後はプライバシーを保ちつつ、孤独を感じないような緩やかなつながりをどう作っていくかが課題である。

【課題への補足(サービス管理責任者 石垣より)】

- 食堂が狭いため、利用者様には時間帯をずらして食事を摂っていただき、満席になることはほとんどない。満席の場合は時間をずらしていただくようお願いすることもある。
- 過去の利用者および職員の感染経験から、熱が出るなど「怪しい」タイミングで直ちに部屋食に切り替える対応を取っている。アパートタイプの構造上、仕切りが多く、感染防止に役立っている。
- 今後も職員が常駐している体制を活かし、利用者様からの相談に迅速に対応し、共に解決していく体制を継続する。
- 水回りの清掃がうまくできていない利用者様には、職員と一緒に清掃を行う取り組みを継続していく。清掃に伴う職員の部屋への入室は、ご本人の希望または水回りの確認などで1か月に1回、あるいは2週間に1回程度のスパンで実施している。

3. 意見交換

【利用者代表 福地様からのご意見】

- 特に要望はない。食事の時間帯の調整提案や、(自身の)悩みが深刻になる前に職員が解決のきっかけを作ってくれることに大変感謝している。

【家族代表 大川様からのご意見】

- 入居後も本人に変わった様子はなく、ご近所トラブルなども聞かれず、親として安心している。
- 地震の際には、本人から職員を呼んだり発信するなど、本人側の対応が見られるため安心している。
- 虫が苦手自分で対応できない課題があり、殺虫剤を持たせた。職員の対応範囲や、本人が実践できる範囲について、今後も本人と話し合いながら進めていきたい。
- 息子が安定して生活できていることが何よりの安心材料である。

【病院受診に関する確認】

- 大川様: コロナやインフルエンザなどで熱が出た場合の病院受診の同行について確認。
- 管理者 石岡: 基本的にはご家族の同行を優先とさせていただくが、それが叶わない場合は職員が同行する。本人がうまく症状を伝えられない場合も職員が同行して対応する。
- サービス管理責任者 石垣: まずご家族に電話で確認し、同行の可否を確認した上で対応を決定している。

【地域代表 三上様からのご提案】

- 入居者様と初めて話をし、生活の様子は歩いているだけでは分からないものだと感じた。
- 今後レクリエーションなどを企画する際は、ぜひ声をかけてほしい。
- 駐車場として貸与している場所や、食堂のスクリーン(映画会などに利用可能)も使って構わない。地域住民との交流にもつながる可能性がある。

4. 閉会

- 管理者 石岡より、会議を通じて地域の皆様、ご家族、ご本人から話を聞ける環境があることの重要性が述べられた。今後も協力を依頼された。
- 困りごとがあれば、いつでも携帯に連絡を受け付ける旨を伝えた。
- 第1回地域連携推進会議を終了。第2回は来年度中、具体的には秋頃の開催を予定しており、その際は改めて案内する。
- 出席者に対し、貴重な意見への感謝と、コープルートへの今後とも変わらぬ協力を依頼し、閉会とした。